



「やまとなでしこプロジェクト」企画・主催

日本酒の魅力に迫る

日本酒を知って、日本酒を発信！若きなでしこがセミナー&試飲&ブレスト会議



なでしこ満開！スマイルおちよこを手にも全員で記念撮影

「和」文化の再評価を旗印に活動を続ける女性グループ・やまとなでしこプロジェクト主催の「日本酒の魅力に迫る」が7月28日、東京西新橋の日本の酒情報館で開かれ(協力:日本酒造組合中央会)、24名のメンバーが、蔵元によるセミナー&試飲&ブレスト会議で、日本酒振興のアイデアづくりに挑戦！



スマイルおちよこ



迫りました

★「やまとなでしこプロジェクト」と日本酒業界

「やまとなでしこプロジェクト」は、伝統産業や食、ものづくりなど地域に根ざした「和」文化の素晴らしさを発信しようと、女子大生やキャリアウーマンたちが結集して2011年6月に設立したアクション・グループ。現在のメンバー数は、約20大学50名。

若者と日本酒の接点づくりに取り組む日本酒造組合中央会では、プロジェクト結成と同時にタイアップをスタート。うら若きなでしこたちのフレッシュな感性で、日本酒の新たな魅力と可能性を引き出してもらおうべく、様々なコラボレーションを展開しています。

女の子に好かれる日本酒ってどんなの？ブレスト会議でアイデア続々



5 チームに分かれて、「若い女性に日本酒を広める」のテーマで、15分間のブレスト会議。みんな生き生き、真剣な表情です。議論白熱の結果、どんなユニークなアイデアが飛び出したか。詳しくは本文で。



❁ セミナー2 題で日本酒の基礎知識を学習

今回の「日本酒の魅力に迫る」は、日本酒の魅力を同年代の若者に知ってもらうには、「まずはプロジェクトのメンバー自らが日本酒文化の知識を身に付けることが必要」との思いから企画されたもの。

参加者は、まず中央会需要開発委員の北川幸宏氏によるセミナーで日本酒の種類や製造工程、発酵の仕組みなどの基礎地時を学習した後、大吟醸と純米酒を試飲。

続く講座は、同じく需要開発委員の尾畑留美子氏による「日本酒を取り巻く環境セミナー」。参加者は、日本酒の消費量の推移や需要開発の課題（若者対策、海外展開）、地域と日本酒、日本酒の美容・健康効果などを、クイズを交えて楽しく学習した後、いよいよ女性に向けた日本酒普及のアイデアを考えるブレスト会議の時間に。

❁ 『初めての日本酒セット』で、いい出会い作り

会議後の発表では、「タイプ別の日本酒を揃えた『初めての日本酒セット』を開発して、いい出会いを作る」「女子大生向けの蔵元見学ツアーやお酒のマナー教室で、日本酒初心者のかっかづくりを」など、貴重なアイデアが続々と出て、講師の北川・尾畑両氏も感心の面持ち。

「若い子の中には、日本酒はオジサンのお酒とっている人もいますが、日本酒を飲める女性はカッコいいという人も多いです。伝統を守りつつ、自信を持って新しい世界を切り開いてほしい」とは、参加者からの声。



外国で「日本酒って何？」と聞かれても答えられる知識を身に付けてください



お酒を飲むとキレイになる？はい、いいえ、どっちでしょう



最後の質疑の時間でも、「日本酒の香りの違いはどこからくるの？」「適量ってどれぐらい？」「冷やして飲んだほうがいい日本酒のタイプは？」など、活発な質問があいつぎました。

ナデシコたちとの今回のコラボも、成果は大きかった。